

全 員 協 議 会 議事録

日 時 令和7年8月19日 (火)

午前10時00分

場 所 山元町役場 全員協議会室

会 議 次 第

欠席なし

1 開 会 宣 告 【議長】

2 開会のあいさつ

3 報 告 事 項

※ 全議会の会議及び出張には、タブレットを充電の上、持参願います

※ 開催通知及び次第を SideBooks の 02_議会全員協議会フォルダに格納します。毎日の確認をお願いいたします。

4 協 議 事 項

町長挨拶、定例会提案予定議案説明。

(1) 町政の動向と報告

津波対応：先月30日に発生した地震に伴う津波警報に対し、速やかに12箇所の避難所を開設。最大660名が避難し、東日本大震災の教訓を活かした対応が行われました。

やまもとひまわり祭り：昨年の来場者を上回る約8万5千人が来場。最終日に津波警報が発表され中止となりましたが、盛況のうちに終了しました。

震災遺構中浜小学校：来館者総数が10万人に達する見込みであり、東日本大震災の教訓を伝える施設としての役割を果たしています。

(2) 説明事項

- ① 再建小学校の今後の進め方：小中一貫教育学校の設置に向けた調査研究と施設整備について。
- ② 新型コロナウイルスワクチン接種：令和7年度の国の補助金廃止に伴う接種体制の見直しについて。
- ③ 子ども誰でも通園制度：令和8年度からの制度化に向けた関連条例案の調整について。
- ④ 有害鳥獣対策：法改正に伴い、クマ等の有害鳥獣の駆除について町としての対応状況を報告。
- ⑤ 都市計画マスタープラン：改定とそれに伴う地域別計画の策定中間報告。
- ⑥ 排水対策事業：事業予定箇所が変更になったことによる予算の組み替えについて。
- ⑦ 震災慰靈碑「大地の塔」トイレ再建工事：工事の概要と今後のスケジュールについて。

- ⑧ 過疎地域持続的発展計画：過疎対策事業債の活用に伴う計画の軽微な変更について。
 - ⑨ 旧坂元中学校利活用事業者選定：公募により選定された事業者の概要について。
- 資料配付① 町営住宅募集結果：第5回募集の結果報告。

(3) 課長等執行部説明

- ① 再編小学校の今後の進め方について（事前説明） 【教育総務課】
測量と調査：小中一貫教育学校の設置に向け、山元中学校と山下小学校周辺の測量調査、および施設の劣化状況調査を実施。
検討委員会の設置：令和7年10月から9年2月にかけて、議員と専門家からなる「仮称小中一貫教育推進委員会」を設置し、教育形態などを検討。
開校時期：令和12年度の開校を目指す。

確認等なし

- ② 令和7年度の新型コロナワイルスワクチン接種について（報告） 【健康推進課】
国の補助金廃止に伴い、接種費用を自己負担7,000円に見直し、10月1日から実施。

確認等なし

- ③ こども誰でも通園制度の事業概要及び関連条例について（事前説明） 【子育て定住推進課】
確認等なし
- ④ 改正鳥獣保護管理法（緊急銃猟制度）に伴う町の対応について（報告） 【産業観光課】

法改正の背景：近年、クマ等の危険な鳥獣が日常生活圏に出没する事案が増加していることから、国は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」を改正。

改正内容：令和7年9月1日から施行。市町村長の判断で、緊急的に危険鳥獣を駆除できる権限が追加されました。

緊急駆除の4要件：以下の全てを満たす場合に実施可能。

危険な鳥獣が人の日常生活圏に侵入している。

人命・人体への被害防止が緊急に必要。

駆除以外の方法では、適切かつ迅速に対応することが困難。

住民への周知が困難ではない。

町の対応：昨年8月の目撃情報を受けて作成した対応フローを改定し、「緊急駆除実施対策本部案」を検討中。

対策本部には、町内部組織に加え、猟友会、警察、消防、県などの外部機関も参加する体制を構築。

【副議長】町のフローに生涯学習課は入らないか。

【課長】その他の関係課、検討していきたい。

【齋藤】一般質問で話題提供したが、その後の町の広報を見ていると注意喚起の掲載がない。

【課長】5月9日から県の警報が出るまで動きはない。

【齋藤】問題提起しているが。国や県は対応しているのでは。危機意識が足りないのではないか。

【町長】その後クマの目撃情報がない。危機感をあまりすぎるのもよくない。今回の対応フローに沿った対応を行いたい。

【齋藤】昨今の情報の整理は。

【町長】ニュースで確認している。丸森角田新地はその後も聞こえた。軽視しているわけではない。

【町長】安全確保。

【齋藤】危機意識が感じられない。久保間に足跡聞こえた。悠長でいいのか。

【町長】危機管理意識の考え方。自分一人で勝手に決めているわけではない。内部で協議して決定している。

⑤ 都市計画マスタープラン改訂及び立地適正化計画策定の中間報告について（報告）

【建設水道課】

計画改定の概要と目的：人口減少に対応し、持続可能なまちづくりを目指すため、10年後の将来像を見据えた都市計画マスタープランと、それに連動する立地適正化計画を改定。

背景：東日本大震災からの復興事業を踏まえ、中心市街地への集中だけでなく、町全体の豊かな発展を目指す。

基本理念：「住み続けたい」「将来的に戻って住みたい」という住民の声に基づき、「快適で安心できる住み心地の良い街」を目指す。

計画策定プロセスと現状分析 住民アンケート：回収率41.9%で信頼性を確認。住民の約3分の2が「今後も住み続けたい」と回答。特に若年層の定着意欲が高いことが判明。

将来人口：20年後の目標人口を1万600人とし、これに基づき計画を策定。

都市構造：震災復興により、駅や商業施設が整備された都市構造は維持。ただし、学校再編等に伴い、教育・健康拠点を新たに位置づける。

津波防災：計画改定のタイミングで津波防災区域の見直しは困難と判断。今後は、県が指定する「津波防災警戒区域」と連動して検討を進める方針。

立地適正化計画の詳細 計画の趣旨：病院や商業施設等の都市機能を特定の区域に誘導し、その周辺に居住を促すことで、生活の利便性向上と地域の活性化を図る。

居住誘導区域：町内の3つの区域（山下駅周辺、宮城病院地区、坂元地区）に設定。

強制的な移転ではなく、住宅の新築や移住の際に誘導する。

災害リスク：居住誘導区域には津波浸水想定区域も含まれるが、避難計画を策定し、確実に避難できることを確認。垂直避難は最終手段とする。

今後のスケジュール：今後、計画の素案を作成し、都市計画審議会や住民との意見交換会を実施。

都市計画マスターplanは議会の議決を、立地適正化計画は都市計画審議会の議事宣言を経て決定する。

今年度末までに計画を公表する予定。

確認等なし

(11:02休憩 11:10再開)

⑥ 排水対策事業について（事前説明）

【建設水道課】

事業計画の変更 当初計画：今年度当初予算では、坂元地区、高須地区、横山地区の3箇所で排水対策の設計業務を予定していました。

変更理由：財源として活用を予定していた「緊急自然災害防止対策事業債（緊災債）」が今年度で3年目となり、年度内に事業が完了しない場合は対象とならないという指導があつたため。

変更後の計画 坂元地区：当初予定していた設計業務に加え、年度内に工事が完了する見込みが立ったため、坂本地区の工事費3,460万円を計上し、設計から工事までを行う。

高瀬・横山地区：地区の調整に時間を要するため、今年度は予算を一時的に計上せず、来年度以降に詳細設計を行う方針に変更。

【斎藤】不都合が出たということだとは思うが、起債事業には事業期間がある。宜理行政事務組合での近防債も期限がある。令和8年度以降の財源は何を活用する見込みか。

【課長】延長なのか、国土強靭化閣議決定されている。何らかの代替を想定している。

⑦ 震災慰霊碑「大地の塔」トイレ再建工事について（報告）

【総務課】

工事内容：当初は木造も検討されたが、耐久性やコスト面からプレキャスト（既製品）のコンクリート造に決定。面積は当初計画より約2.2平米小さい11.99平米。便器の数は変更なし。手洗い場はコストを考慮し、個別の設置ではなく既製品をそのまま利用。

配置：既存の構造物と干渉せず、かつ自然勾配で排水できる位置を検討して配置を決定。ポンプ方式はコストがかかるため採用しない。

【高橋】ウォッシュレットか。

【課長】暖房便座、ウォッシュレット故障が多い。ついているのは少年の杜や体育文化センター。管理が行き届くところにつけている。磯漁港や避難所には付けていない。

【渡邊】防犯カメラは。

【課長】震災慰靈碑だと知らない人がたむろしたことがある。近隣の方がお話ししておかえりいただいた。カメラはないが防犯灯の位置なども検討している。

【孝子】お子さん連れは。

【課長】バリアフリートイレ、世間で配慮がある現状を鑑み行政として推進すべきと設置した。

⑧ 「山元町過疎地域持続的発展計画」の軽微な変更について（報告）【企画財政課】

変更の理由：2つの新規事業（震災慰靈碑トイレの整備事業と、山元中学校のエアコン設置工事）に過疎対策事業債を活用するため、計画にこれらの事業を追加する必要が生じた。

計画の性質：この変更は「軽微な変更」であり、議会の議決は不要だが、報告は行う。

次期計画の策定：現在の計画が最終年度（令和7年度）であるため、次期計画（令和8年度から12年度）の策定スケジュールについても説明している。

確認等なし

⑨ 旧坂元中学校利活用事業者の選定について（報告） 【企画財政課】

課長からの資料説明後、仮称合同会社 ONE VLLAGE 代表社員 祝氏（山元町地域おこし協力隊員）からプレゼン資料で説明。

事業提案の概要 事業主体：合同会社 ONE VLLAGE

事業内容：旧坂元中学校体育館を体操、ダンス、アクロバット等のレッスン施設として活用。地域住民の交流、イベント会場、貸し出しへスペースとしても運営。施設内に幼児向けのスペース（ベビールーム）を設置。

強み：指導員、保育士、教員免許、潜水士等の資格を保有するスタッフが運営。文化庁の補助金（1,000万円規模）獲得経験があり、企画や行政申請に精通。映像制作スキルも有し、広報発信まで一貫して実施可能。

契約期間：契約更新を想定して20年を希望。採択されたため、まずは10年間で運営。

貸付料：公益性のある事業であるため、減額または無償での賃貸借契約を希望。

利用料金：レッスン料は週1回で月額6,000円程度を想定。

【渡邊】年齢区分は。

【祝】5歳程度からレッスン、高齢者向けには年齢制限はない。

【竹内】レンタルとあるが。

【祝】マットを持っていない団体もあるので、積極的に貸し出していきたい。町内ダンス団体にも貸し出していきたい。

【斎藤】岩沼市、名取市と比して、本町の場合、事業計画の人数換算はなかなか難しいのではないか。公共施設は基本的には無料です。活用者される方が負担をしていくのはどうか。

【祝】県内に体操施設開放しているのは、県内に2か所仙台、仙南にはない。体操をするニーズはある。室内遊び場も白石と名取にしかなく福島に流れている。その辺のマーケティングを想定している。

【丸子】入場料等、レッスン料金、同時開催が可能なのか。

【祝】一般開放時間はレッスンなし。レッスン時間は一般開放なし。

【秀一】管理運営体制、集客が多い、スタッフ3名で行けるのか。

【祝】基本的に2名。子供が遊んでいる場合は保護者が見る。問題が生じた場合にはスタッフ増員を考える。

※資料配付のみ

① 町営住宅第5回移転募集の結果について

【企画財政課】

(2) その他（執行部説明終了後）

【齋藤】今日一時間前に予定されていた行政事務組合からの説明の延期。文書の下に質問をしないでくれと書いてあった。説明を受けて、質疑なしというのはあり得ない。議長からきちんと伝えてほしい。

5 その他
なし

6 閉会宣言 【議長】

◎今後の主な行事予定

8月20日（水） 10：00 全員協議会（議会側）

13：00 宮城県後期高齢者医療広域連合議会（高橋眞理子）

21日（木） 10：00 総務民生常任委員会所管事務調査

（町民生活課報告事項及び視察研修報告まとめ）

24日（日） 9：00 消防秋季演習 町民グラウンド 正副議長・総務民生常任委員

28日（木） 13：00 全国町村議会広報研修会 渋谷公会堂 広報広聴常任委員

（閉会 12：08）